

「4月28日」に岸田政権退陣か

自民党安部派の裏金資金の余波なのか、岸田首相は「宏池会（自民党岸田派）を解消すると宣言し、安部派、二階派、森山派らもこれに追随した。残る麻生、茂木派、これに慎重だが、この派閥解消論も国民は既に織り込み済みである。問題は今や自民党に対する支持率が一気に冷え込んでいるが、最新調査の顕著な傾向である。自民党内には「裏金問題でも誰も責任を取ろうとしない恥ずかしい事態だからだ」との声もある。さらに岸田政権を支え続けていた麻生太郎副総裁が、岸田派閥のわきまえる（女性政治家・上川陽子）外相を持ち上げて「次の総理・総裁候補」に挙げるなど、「次の総理・総裁」への微妙な空気の変化が出ている。結局のところ、「4月28日の衆院補選の結果をみよう」との声が自民党内で強い。

各社の岸田内閣の支持率は、朝日新聞 25%、読売新聞 24%となんとか 20%台だが、前月を下回っており漸減傾向は続いている。退陣水域の 10%代理もありえる。それより興味深いのは毎日新聞の政党支持率である。先週発表されたところによると、自民党の支持率は前回比で 7%減、立憲民主党の同率 16%と相当の落ち込みとなった。立憲民主党が自民党を同率か上回ることはその前身である「民主党」が政権党だった 2009年8月—2012年11月の時期だけである。また、時事通信社が発表した政権与党・公明党の内閣支持率は深刻だ。昨年10月調査時の半分以下である。この期間で変わったことと言えば、公明党の支持団体・創価学会の池田大作名誉会長の死去。しかし、それだけではないだろう。ある政界アナリストは「国民の意識の方が岸田首相より先に言っており、岸田さんのやることなすことがわかってしまう政治」がこの支持率急低下の要因である。いつも例に出すが、所謂「青木の法則」によれば、内閣支持率と自民党支持率の和が「半数をこえていれば自民党政権は安泰だが、今や「30%」そこそこ、高齢者・男性の指示率が大きく低下しており「このまま衆院解散したら、自民党の負けは確実だろう」との声が自民党内に出てきた。自民党の下野が視野に入ったとはいえ、毎日新聞の調査を除けば、野党の支持率は高くない。立憲民主派確かに上昇

したが、野党第2党の「日本維新の会」は、昨年春の地方統一選挙ほどの伸びはない。これでは国民には「野党に政権を任せよう」とのムードはまだない。京都市や東京・八王子市長選挙で自民・公明の与党政権が支持応援した候補が勝利した。困月の自民党総選挙は、最大派閥・安倍派が解体された現在、どうなるのか、ポスト岸田を狙う人材は少ない。結局「岸田の方がマシ」との見方が有力だ。しかし、結局どうなるかわからない。昨年まで全く無印だった上川陽子外相が急成長するかもしれない。とは言え4月28日には、島根1区、長崎3区、東京15区の衆院補欠選挙がある。長崎3区で自民党は不戦敗。残る島根、東京も負けたら、「岸田首相では衆院解散は出来ない」（自民党選対）との声が一斉に出てきて、それが岸田首相退陣となるかもしれない。（憲）

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫
「インド経済の弱点について」

★★

インド経済の弱点として長く指摘されてきたのは主に以下の点です。

- ① インフラの未整備
- ② 製造業の未発達
- ③ 女性の社会進出の遅れ
- ④ カースト制度による差別
- ⑤ 大気・水質汚染

しかしながら、最近の状況の一つ一つ見ていくと、①については道路、鉄道、空港などの交通インフラや、電気、水道などの生活インフラの整備が目覚ましく進んでいます。

前回のメルマガでは、ベンガルール空港の第2ターミナルが、ユネスコから世界で最も美しい空港の一つに選ばれたことをお伝えしました。今回は以下に、今年の1月12日に開通したばかりのムンバイ湾横断道路をお見せします。地図では赤い線の部分です。（出所：ムンバイ都市開発庁、JETRO、外務省）



ムンバイと対岸の計画都市ナビムンバイを結ぶ21.8キロ、6車線の海上道路

です。構想から約 50 年、ムンバイ市民の夢が日本の協力により実現しました。両都市間の移動時間は 1 時間超から 20 分弱に短縮される見込みです。

ムンバイはもともと 7 つの島でした。その周りを数百年間に亘り埋め立て現在の半島部分ができ、それがこの横断道路で今回陸地に繋がりました。インドのインフラはこのようにドラスチックに改善しています。

次に②の製造業については、その GDP への寄与度が現在の約 15%から 2047 頃までに 30%を超えると、インド不動産協会などが予想しています。上記のようなインフラ整備の進展や外国製造業のインド進出の加速、そして急速な都市化の進展などが大きくインドの製造業を発展させそうです。インドが世界の工場になるのも夢ではなくなっています。

続いて③の女性の社会進出に関しては、昨年 10 月にインドの国会が下院と州議会の議席の 33%を女性に割り当てる法案を可決したことなど進展が見られています。現在の下院の女性議員比率は 15.2%ですので歴史的な出来事です。今後は仕事や教育に関しても女性の社会進出を後押しするような政策が取られると期待されます。

④のカーストによる差別は憲法で禁止されているため、都市部や大企業では目立ちません。また、IT などの新しい産業は、カーストの分類外であるため、実力次第でその壁を乗り越えられる領域です。カースト制度は一つの秩序であるため簡単に無くなることはないにせよ、それによる差別は徐々に少なくなると思われます。

最後の⑤については、次の写真をご覧ください。左はニューデリーの大気汚染、右がガンジス川の水質汚染です。海外メディアが好むインドの弱点です。



でも思い出してください。以下の写真（出所：東京都環境局）は 1960～70 年代の東京の空と隅田川の汚染状況を映しています。隅田川の花火大会は 1962 年から 1977 年まで、川の汚染と交通渋滞のため中断していました。日本経済が奇跡の二桁成長の真ただ中であつた時です。

成長国に環境汚染はつきものです。ですから、今のインドに環境にやさしく高成長しろというのは無理な注文です。欧米でもできませんでした。だからと言って 2047 年までに先進国入りを目指すインドが、このまま環境汚染を放置するとは思えません。きっとその改善に向けリーダーシップを発揮するはずで



インド経済の弱点は克服されつつあります。他にも国境紛争や原油高などインドへの投資で留意すべき点はあるでしょう。しかし、今から始まりそうなインドの時代が私たち投資家にもたらすチャンスは、見逃すには余りも大きいと考えます。

~~~~~ お知らせ ~~~~~

好評発売中。インド株投資の前には一読ください。

2024年  
世界マネー  
の大転換

話題の専門家4名との  
白熱対談を収録

景気循環の爆走サイクルが訪れて  
米中から日本への  
資金シフトが始まる!

今井 激 (Imai Kiyochi)  
巨額エコノミスト

代島 隆雄 (Takajima Takao)  
白井 大輔 (Shirai Daisuke)  
田中 雄二 (Tanaka Yūji)  
渡部 清二 (Watabe Kiyohi)  
嶋中 雄二 (Shimazumi Yūji)  
エミレン・ユルマス (Emiren Yulmas)  
スティーヴン・アトキンソン (Stephen Atkinson)  
勝池 和夫 (Katsuchi Kazuo)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
ムッシュ望月の今月の相場展望と映画紹介

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映するのが相場

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★  
相場展望：過去の最高値更新は間近い

先月のレポートでは、「新高値相場の幕（スタート）は切られたとした。低迷する中国市場に代わり、投資資金は米国、日本、インドに流入しだした。その影響を受け、東京市場にお金が一気に入りだした。昨年4月～6月にも外国人投資家の大幅な買い越しが見られた。4月の買い越し額は2兆3113億円、5月の買い越し額は2兆2304億円、6月の買い越し額は1兆5705億円、7月の買い越し額は4231億円、その後は利益確定の売りで上値が重くなった。今年の1月の買い越し額は2兆693億円、2月第1週は1784億円、第2週は3663億円、1月同様の買い越しが期待できそうです。2月16日の出来高は市場2番目の売買代金を記録しているの、22日に発表される買い越し金額は楽しみです。今後の買いの投資家として注目されるのは、石油マネー（オイルダラー）で、ロンドンや中東では政府系ファンド（SWF）では久々に盛り上がりを見せている。23年の中東ファンドを新規投資額順に並べると、サウジアラビアの資金（PIF）が一番で316億ドル、ムバダラ（UAE）は175億ドル、アブダビ投資庁（UAE）132億ドル、カタール投資庁が59億ドル、ADQ（UAE）が58億ドルである。中東の湾岸諸国のSWF運用資産は膨張している。調査会社のレポートによれば、2023年に計4.1兆ドル（約610兆円）と18年比で6割増えている。世界のSWFの4割を占め、30年には7.6兆ドルまで増える見通し。23年の投資では、日本は4番目の54億ドル、1番は米国の829億ドル、2番は英国の158億ドル、3番がオーストラリアの73億ドルで、日本は22年比では63%増である。中東のSWFの資金は最近ではコーエーテクモHDを16日連続で買い増し、保有率を6.7%から7.7%まで高めた。また任天堂の大株主でもある。中東マネーは1970年代の第一次オイルショック、第二次オイルショックを経て、世界の市場を動かす存在となった。2000年のITバブル時代には光通信の大相場を演出している。今回は東京証券所が旗振りをしているPBR（株価純資産倍率）銘柄の中からお化け銘柄が内蔵されている可能性はありそうだ。例えば三菱重工がその対象銘柄と考えるとわかりやすい。昨年12月18日の安値7452円から2月19日の高値は11515円で、上昇率は54.5%である。三菱重工は防衛産業の雄で、2番手の川崎重工は昨年12月14日の安値は2786.5円から2月16日の高値3868円まで29.2%の上昇にとどまっている。つまり大きな二極化が起きることが見えてきた。中東の資金の特徴は集中投資となるので、トップ銘柄に注目する必要がある。銀行株で見ると、トップバンクの三菱UFJは19日に高値を更新し1497.5円で引けた。この銘柄の安値は12月20日の1164円、この間の上昇率は28.6%であ

る。2番手の三井住友FGは12月18日に安値6530円を記録し、2月19日の引  
け値は8185円で、この間の上昇率は25.3%とほぼ同じ程度の上昇率である。3  
番手のみずほFGは、12月20日の安値2293.5円から19日の引値2766.5円まで  
上昇し、上昇率は20.6%の上昇である。業種のトップ銘柄を買うのが定石であ  
る。大きな相場のラストランナーは銀行株であり、日銀の金融政策の変更は4月  
位がコンセンサスとなっており、銀行株は金利の上昇の恩恵を受ける銘柄とし  
て、まだまだ上昇余地があると言えそうだ。アラーの神のご加護に期待したい。  
前年のアンダーパフォームした銘柄の反転が見られるのも相場の特徴であり、  
造船、機械、電気、繊維、化学、非鉄金属、不動産にも注目したい。

(純記)

映画：洋画より「ジャンヌ・デュ・バリー」

今月は7つの作品に出合いました。通算で20本となります。今週末24日、25  
日には3作品を観て10本にしたいところです。1月は13本で「パーフェクトデ  
イズ」「ウィッシュ」「エクスペンダブルズ」「枯れ葉」「笑いの怪物」「名探偵コナ  
ン対怪人キッド」「コンクリート・ユートピア」「ビヨンド・ユートピア脱北」  
「ゴールデンカムイ」「アクアマン」「サイレントラブ」「君と世界が終わる日」  
「哀れなるものたち」、この中でのオススメは「パーフェクトデイズ」と「枯れ葉」、  
「哀れなるものたち」になります。今月の紹介は2月に観た作品から「ジャンヌ・  
デュ・バリー」を紹介します。ルイ15世の公妾といえはポンパドゥールが有名で  
すが、最後の公妾(愛人)はジャンヌ・デュ・バリーで、フランス革命から遡る  
こと約50年前、ベルサイユ宮殿で周囲の目も憚らず愛を確かめ合っていました。  
未婚の女性が国王の寵愛を受けるのがタブーだった時代に、貧しい家に生まれ  
た彼女が身請人のデュ・バリー伯爵と正式に結婚することで、貴族の手に入れた  
からです。そもそも貴族であれば、王の愛人になれるかは、疑問ですが、次々と  
宮殿のおきてが紹介され、フランス王朝を知らない人にも興味をそそられます。  
まずは、鏡の回廊の謁見で王に気に入られなければ床入れは出来ません。床入れ  
前のえげつないボディチェック、宮殿の人々に義務付けられたユニークな後ず  
さり方、目覚めたばかりの王を健康診断や列をなす訪問者たち等々、随所に珍場  
面がちりばめられています。ジャンヌは王の侍従や娘たちによる根強い差別や  
冷徹な視線をもろともせず、王の愛だけを信じて自由奔放に走る、すごいパワ  
フルな女性でした。革命前夜も毅然として姿は、翻弄されない女性の強さを感じま  
した。貧しい生まれの女性でしたが、最後は断頭台に立ち、死刑に処されます。  
数奇なる運命の一こまには引きこまれます。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 24年3月以降のイカス倶楽部スケジュール

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

03月06日(水): 15:00~花咲投資クラブ  
03月07日(木): 13:30~日比谷会投資クラブ  
03月12日(火): 16:00~ムッシュのサロン・ド・経済  
03月16日(土): 15:00~スペリオール投資クラブ  
03月21日(木): 18:30~ムッシュ&野口雅代の車座(道しるべ)  
03月28日(木): 15:00~東京3Eクラブ  
04月03日(水): 15:00~花咲投資クラブ  
04月04日(木): 13:30~日比谷会投資クラブ  
04月09日(火): 16:00~ムッシュのサロン・ド・経済  
04月18日(木): 18:30~ムッシュ&野口雅代の車座(道しるべ)  
04月20日(土): 15:00~スペリオール投資クラブ  
04月25日(木): 15:00~東京3Eクラブ  
投資クラブは年会費 36000 円、スポット参加の費用は 1 回 3000 円(消費税込み)  
**新設: 車座(道しるべ)は軽食付き 3000 円、学生は 1000 円**  
会場は全てイカス事務所、野口雅代氏は経営コンサル&マジシャン

第 24 回(コロナ後再開)カラオケ会: 24 年 03 月 29 日(金): 18:00~21:00

2024 年 1 月からは参加費が 7000 円、倶楽部エル

ムッシュのサロンは朗読会とのコラボ: 3 月 12 日(火) 16:00~18:00

「悪の枢軸国から核の枢軸国へ？」

コラボの朗読会(40 分程度)講師: 郷圭子氏(朗読家)

サロン・ド・知久(交流会): 参加費 3000 円、歩く会・特番は別料金

第 35 回: 24 年 3 月 26 日(火) 14:00~20:00、限定 10 名

原真善美と歩く飛鳥山公園花見会、3000 円+飲食代、飛鳥山公園

第 36 回: 24 年 4 月 23 日(火) 18:30~21:00、サロンド知久+誕生会、ゼンカフェ

司会進行はカトリーヌ・麴町・ミキ(原真善美氏)、7000 円、限定 40 人

特番: 24 年 3 月 30 日: 「三宅あみと向島を歩く」、昼食はうなぎ「前川」参加費: 8500 円

参加者: 25 名程度、押上駅集合

第 42 回: イカス夏の交流会: 2024 年 6 月 13 日(木)午後 6 時~午後 9 時

外国特派員協会、参加費: 10000 円、事前振り込み: 9500 円

講師: 帝京大学教授・フランスクラブ会員

山本博幸氏 「(仮)日経新聞を読み・活用する技術」

ゲスト: 詩吟アーティスト 恵聖氏

NPO イカス：東京都港区新橋 3-16-12 横山ビル 6F

[info@npo-icas.com](mailto:info@npo-icas.com) <http://www.npo-icas.com>

会費振込先：三菱UFJ 銀行新宿中央支店、普通：5 3 1 3 5 5 0